

V 教育研究

令和4年度 世羅町立世羅中学校教育研究計画

1 めざす生徒像

校訓	学校教育目標	目指す生徒像	育成を目指す 資質・能力
自主	自ら考え、判断し、 行動できる生徒の育成	○自ら進んで行動できる生徒	主体性
友愛		○世界の一員として何ができるか考える生徒	協働性
創造		○豊かな発想で、新たな価値を生み出す生徒	創造性

2 研究主題

「自ら考え、判断し、行動できる生徒を育成するカリキュラム・マネジメント」
～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現を通して～

3 主題設定の理由

変化が激しく先行き不透明な時代、Society5.0の時代、人生100年時代といわれている昨今、生徒が長い人生を「幸せ」を感じながら生き抜く力が必要である。そのような時代を生き抜くためには、たとえ「未知の状況」であったとしても、生徒自身が「自ら考え、判断し、行動する」ことで、社会でよりよく生き、またよりよい（持続可能な）社会の創り手となる必要がある。

本校では、これまで「世羅中授業モデル」に基づいた授業づくりを踏まえ、授業の冒頭で示す「目標（めあて）」を具体化することで、学習への見通しをもたせ、学びに向かう力の育成を図ってきた。また、協働学習の充実やねらいに沿った授業の振り返りの工夫を図ることで、生徒の思考力・表現力の育成や学習内容の定着を高める取組を行ってきた。しかし、昨年度に実施した学力分析や意識調査アンケート等の結果から、本校の生徒は、必要な情報を見付け出し取り出すことは得意だが、それらの関係性を理解して解釈したり、自らの知識や経験と結び付けたりすることに課題があることがわかった。

これらの課題の改善を図るために、社会に開かれた教育課程を通して、学習指導要領において育成を目指す未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を養う必要があると考える。

4 研究仮説

次のような手立てを行えば、生徒は自ら考え、判断し、行動できるようになるであろう。

- (1) カリキュラム・マネジメントの充実のための工夫
- (2) 授業改善（個別最適な学びと協働的な学びの充実のための工夫）

5 今年度の取組の重点

(1) カリキュラム・マネジメントの充実のための工夫

教育内容を組織的に配列し、各教科及び領域において思考力・判断力・表現力を活用・発揮する場面を増やすことで、思考力・判断力・表現力の育成を図る。

(2) 授業改善（個別最適な学びと協働的な学びの充実のための工夫）

【個別最適な学びの視点】

・各教科及び領域、「まなびのStep」の時間において、「指導の個別化」及び「学習の個性化」の場面を増やすことで、基盤的な学力の育成を図る。

【協働的な学びの視点】

・各教科及び領域、「まなびのとびら」の時間において、探究的な学習や体験活動等を通じ、生徒同士で、あるいは多様な他者と協働しながら学習する場面を設定することで、学びに向かう力の育成を図る。

6 検証の指標

- (1) 内部評価指標：生徒質問紙調査「学校に行くのは楽しい」の肯定的評価の割合を100%以上
生徒質問紙調査「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」の肯定的評価の割合を90%以上
- (2) 外部評価指標：Ai GROW（アイグロー）「協働性」「創造性」で初回のスコアを上回った生徒・コンピテンシーの割合を80%以上
標準学力調査で全国平均を上回った生徒の割合を70%以上

V 教育研究

令和4年度 年間研修計画

1 研究テーマ

「自ら考え、判断し、行動できる生徒を育成するカリキュラム・マネジメント」
 ～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現を通して～

2 重点取組

- (1) カリキュラム・マネジメントの充実のための工夫
- (2) 授業改善（個別最適な学びと協働的な学びの充実のための工夫）

3 グループ別教育研究体制について

- ①目的：教科を越えた授業構想の交流により、教科の壁をなくし、授業力の向上を図る。
 複数で指導案の検討を行うことで、個人の負担を軽減する。
- ②編成：Aグループ（言語系）国語・英語（6名）
 Bグループ（資料系）社会・数学・理科（6名）
 Cグループ（実技系）音楽・美術・保健体育（3名）
- ③内容：研究授業で行う指導案の検討、事後協議をグループ単位で行うことを基本とする。
 公開研究会での全学級での授業実施は廃止する。

4 年間研修計画（5/2 現在）

	期 日	目 標	研究内容・ 教科・領域等	指導者名
全体	4月4日（月）	今年度の研究について見通しをもつ。	理論研修 （今年度の研究について）	（教育研究部）
全体	5月16日（月）	「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」の実現に向けて、「どのように各種調査（標準学力・アイグロウ）を活用するか」について学ぶことを通して、自校の「まなびのStep」の取り組みに生かす。	理論研修 （エビデンスに基づく教育に係る研修）	東京書籍 & IGS 株式会社 （確定）
全体	5月25日（水）	「個別最適な学び」の理念を学ぶことを通して、各教科・領域においてどのように個別最適な学びを実現するか、イメージをもつ。	5校時まなびのStep 参観後、 理論研修 （個別最適な学びに係る研修）	広島県教育委員会 義務教育指導課 村田 耕一 主任指導主事 （確定）
全体	6月27日（月）	操南中における総合的な学習の時間の実践事例を学ぶことで、一人一人の子どもを主人公にした学習の可能性を知り、自校の「まなびのとびら」の取り組みに生かす。	理論研修 （まなびのとびらについて）	岡山市立操南中学校 教諭 竹島 潤 （確定）
希望者	6月22日（水）～ 7月13日（水）	先進校視察体験を通して、「社会に開かれた教育課程をどのように実現するか」について、具体的なイメージをもつことができる。	先進校視察 研修またはオンライン交流	岡山大学教育学部附属 中学校、府中市立府中 明郷学園など
全体	6月22日（水）～ 7月13日（水）	互いに授業を見合う授業公開ウィークの中で、生徒理解や授業づくりについて多様な視点から見つめなおすことができる。	授業研究 （授業公開ウィーク）	

V 教育研究

全体	8月4日(木)	「ハイパーQU, アイグローを活用した事例検討」を通して、積極的な生徒指導の在り方について考える。	教育相談	スクールカウンセラー (確定)
全体	8月5日(金)	①カリキュラム・マネジメントの充実に向けた事例を知り、単元配列表を描くことを通して、深い学びの実現性を高める。 ②「特色ある教育活動の推進」「学習指導案の書き方」について共通認識をもつ。	理論研修 (カリキュラム・マネジメントの充実に向けて)	①埼玉県立伊奈学園中学校教諭 松倉紗野香 ②(教育研究部) (確定)
全体	9月22日(木) ※調整中。	言語系・資料系の授業研究を通して、個別最適な学びと協働的な学びを実現する授業づくりについて考えることができる。	授業研究 ※初任者研修, 中堅教諭等資質向上研修と兼ねる。	世羅町教育委員会 指導主事 津森 佑平
全体	10月6日(水)	道徳の授業研究を通して、「社会に開かれた教育課程」「多様な考え方を生かすための言語活動」について考えることができる。	授業研究 ※町道徳推進協議会第2回定例会 会場校	広島県教育委員会 指導主事 (確定)
全体	11月11日(金)	「まなびのとびら」「まなびのStep」の授業研究を通して、個別最適な学びと協働的な学びを実現する授業づくりについて考えることができる。	授業研究 ※自主公開とする。	岡山大学大学院 教育学研究科教授 藤井 浩樹 世羅町教育委員会 指導主事 津森 佑平 (確定)
全体	12月26日(月)	2学期の成果と課題を踏まえ、3学期・次年度の教育活動の重点を確認する。	理論研修 (今学期の振り返り, 3学期に向けて)	(教育研究部)
全体	2月21日(火)	「資質・能力を効果的・効率的に育成するための取組」について、分掌を越えて話合うことで、教職員全体でよりよい学校づくりについて考えることができる。	理論研修 (今年度の振り返り, 次年度に向けて)	(教育研究部)
全体	3月15日(水)	「今年度の研究のまとめ」及び「次年度の研究の方向性」について、共通認識をもつ。	理論研修 (次年度に向けて)	(教育研究部)

※県指定

・令和4年度特別支援学級支援プロジェクト(研修:年1回以上, 訪問:月2回程度, オンライン協議:年2回)

※研究授業を伴う町内の研修

・道徳教育推進協議会(10/6)会場:世羅中

※町指定公開研究会

世羅西中学校, せらにし小学校(11月8日)

※輝く せらの学校文化発表会(11月1日)

(お願い)

・世羅教育研究会の教科部会等で研究授業者になられた場合はお知らせください。

・指導主事を派遣する場合、指導案は授業日の1週間前まで(期限厳守)に町教委を経て、東部教育事務所長へ提出する流れとなっています。授業日の2~3週間前を目安に校内起案をしていただくと助かります。

○中堅教諭等資質向上研修(高橋先生)

・8日間の教育センター等での研修, 12~20日間の校内での研修。少なくとも6日は授業研究を行う。

○初任者研修(間先生)

(1)校内における週4時間程度, 少なくとも年間120時間の指導教員を中心とする指導及び助言による研修

(2)校外における教育センター等での研修(中学校:17日)

○令和5年度県中音尾三豊竹世羅大会に係る研究授業(宮岡) 11月~2月

V 教育研究

5 研究グループ及び研究授業実施計画 (5/2 現在)

		校内研修 (9/22)		道徳 (10/6)	自主公開研究会 ※主に教育関係者への公開 (11/11)	
A (言語系)	山根教頭					
	岡本				○	まなびの Step (2年)
	藤本				○	まなびのとびら (1年)
	栗田				○	まなびのとびら (3年)
	波間				○	まなびのとびら (1年)
	間 (初任者研修)	○	外国語		○	まなびの Step (2年)
B (資料系)	金末				○	まなびの Step (2年)
	西本			○ 道徳推進協議会と兼ねる	○	まなびのとびら (3年)
	杉原と				○	まなびの Step (2年)
	吉原				○	まなびのとびら (1年)
	杉原よ				○	まなびのとびら (1年)
	高橋 (中堅教諭等資質向上研修)	○	理科		○	まなびのとびら (3年)
C (実技系)	高橋校長					
	宮岡	○	音楽		○	まなびのとびら (3年)
	村上				○	まなびのとびら (3年)